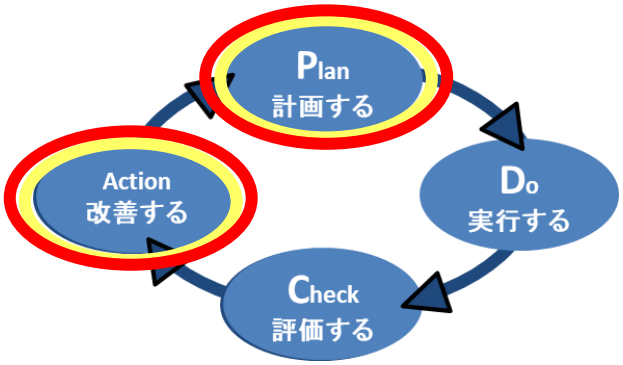


動画版

次期計画に向けて

「誰にでもできる! がん計画の作り方」

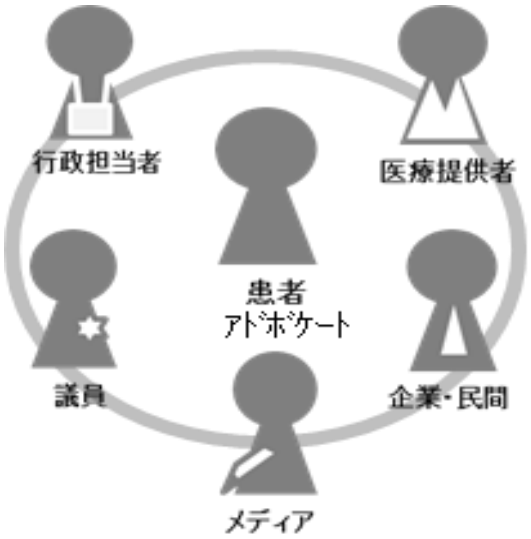
Vol.3　がん計画の改善と次期計画策定の手順

2020年12月

特定非営利活動法人がん政策サミット

助かるはずの「いのち」が救われるために
どこに住んでいても、最良の医療を受けられるために
「患者の生活の質、尊厳と安心ある社会」の実現のために

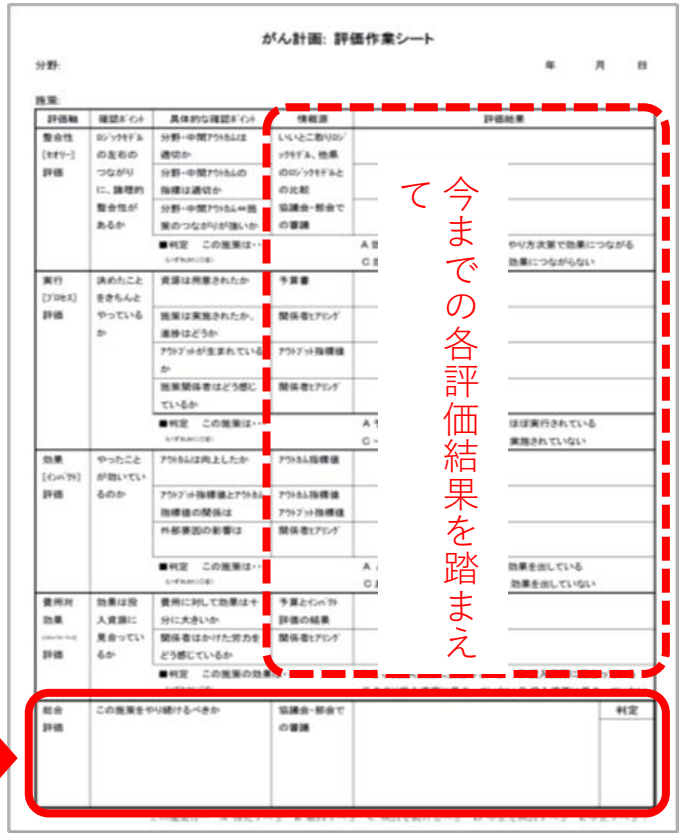
この施策/事業を継続すべきか



この施策（事業）は、

A 強化すべき
B 維持すべき
C 検討を続けるべき
D 中止を検討すべき
E 中止すべき

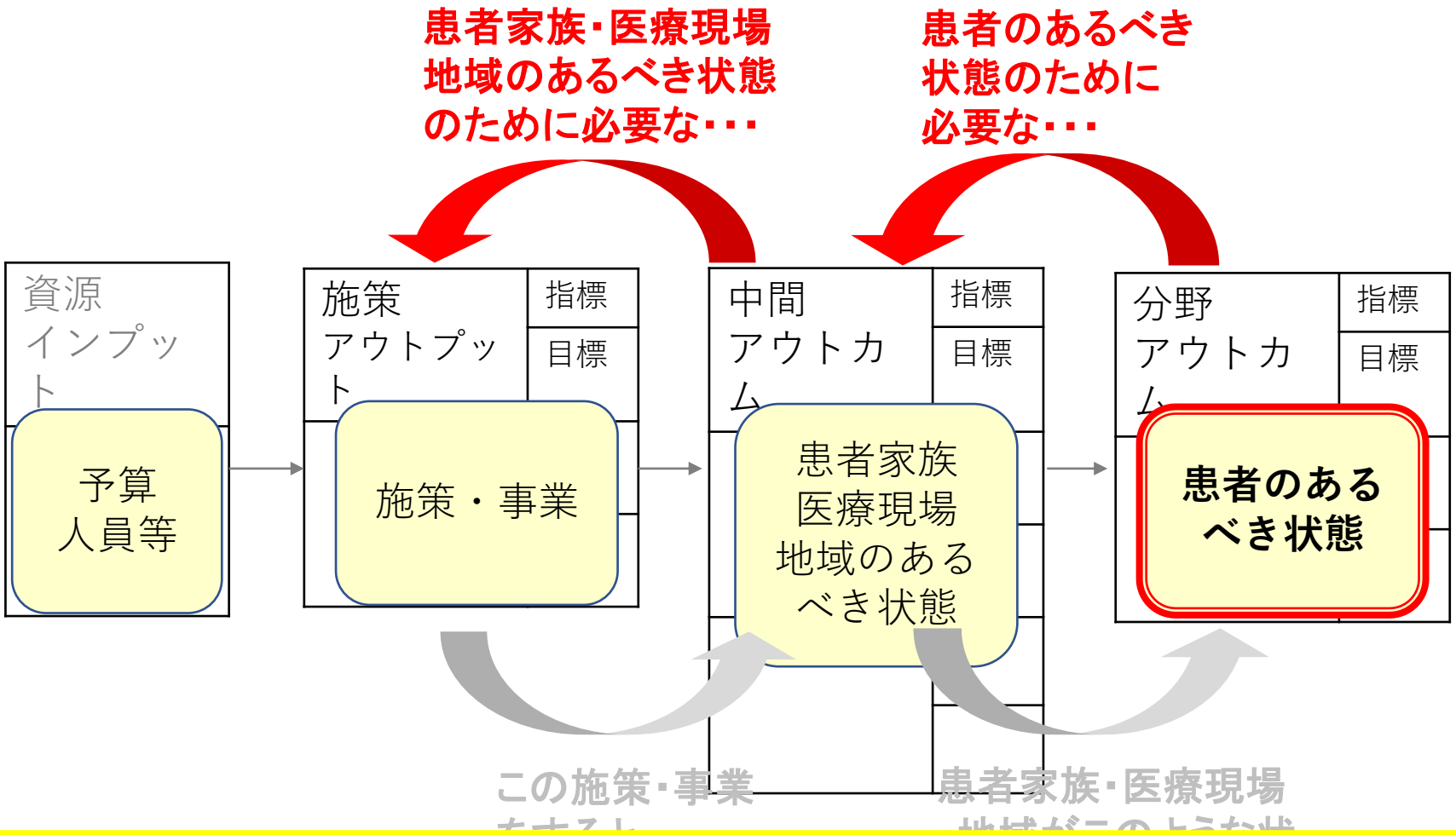
判定する



既存施策毎の継続についての判定

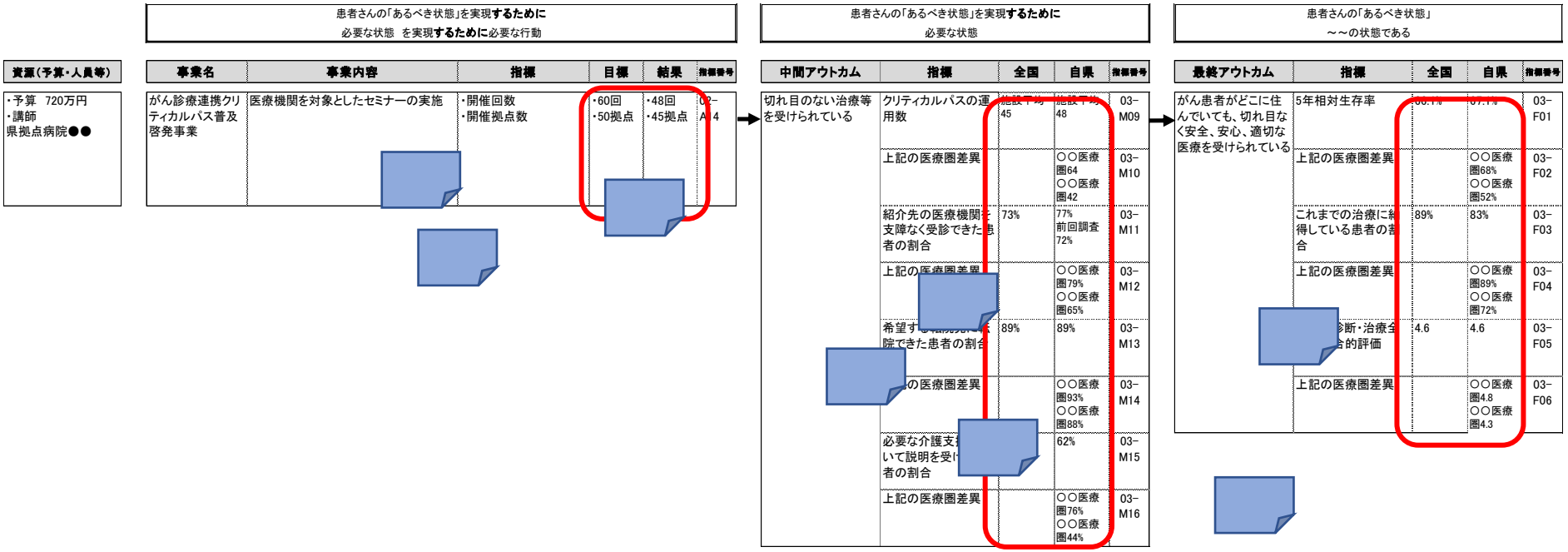
を、<u>一旦横において</u>、ロジックモデル上で再検討します

ロジックモデル=原因と結果の因果関係の論理構造図



がん計画を作る=「まずロジックモデルを作る!」そしてそれを文章に!!

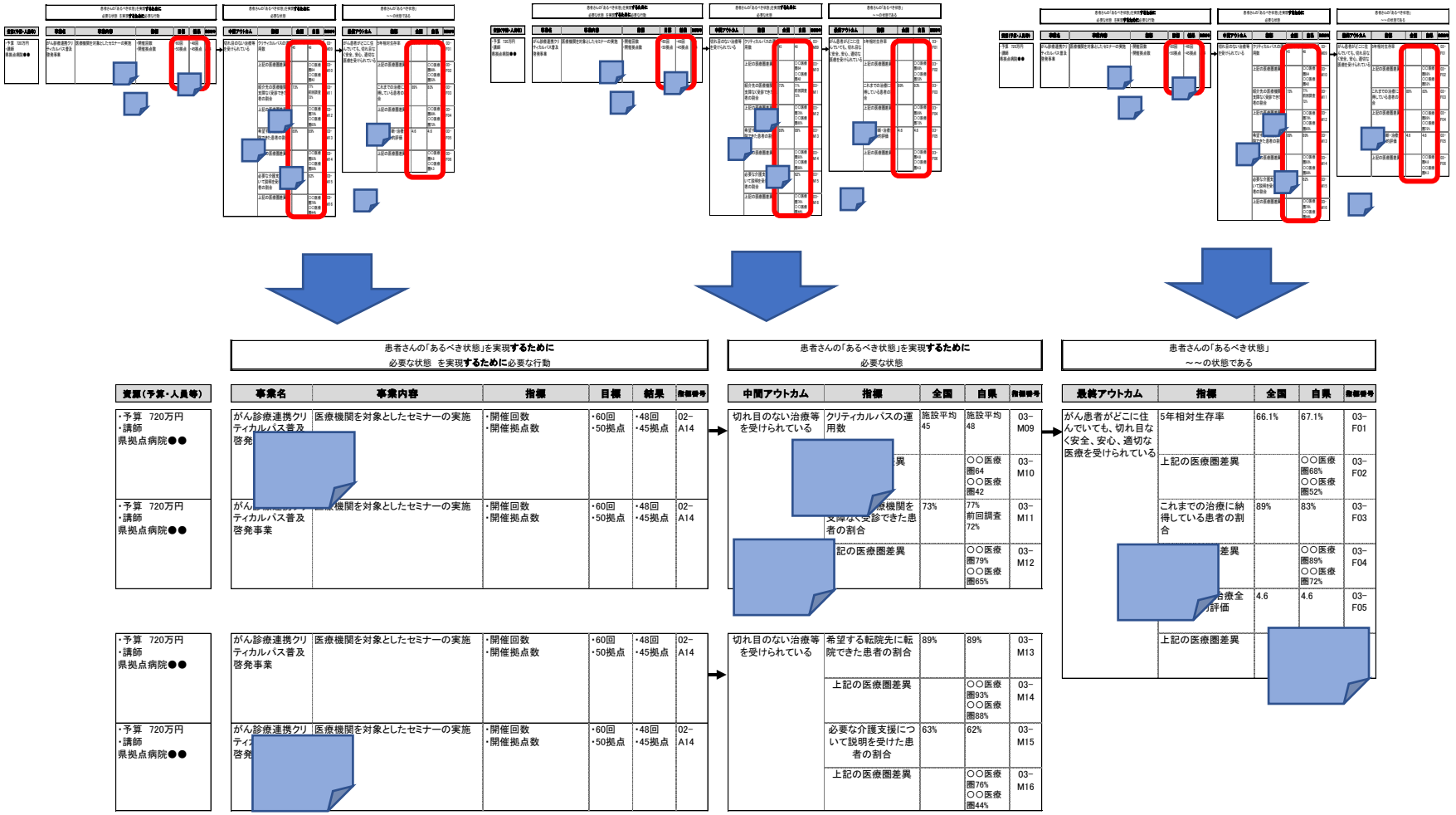
ステップ1. 現状を知る
① 基礎データの収集 + ②課題を抽出する



① 基礎データの収集
中間評価を行った県は、ロジックモデルに埋めた指標値をもとに
行っていない県、また現計画の指標にはない項目が気になる場合は、データを調べます

② 課題を抽出する
上記①から見えてくる、課題を抽出し、みんなで共有します
その際、論点がずれないように、ロジックモデル上に付箋メモを貼っていくなどして議論することを推奨します

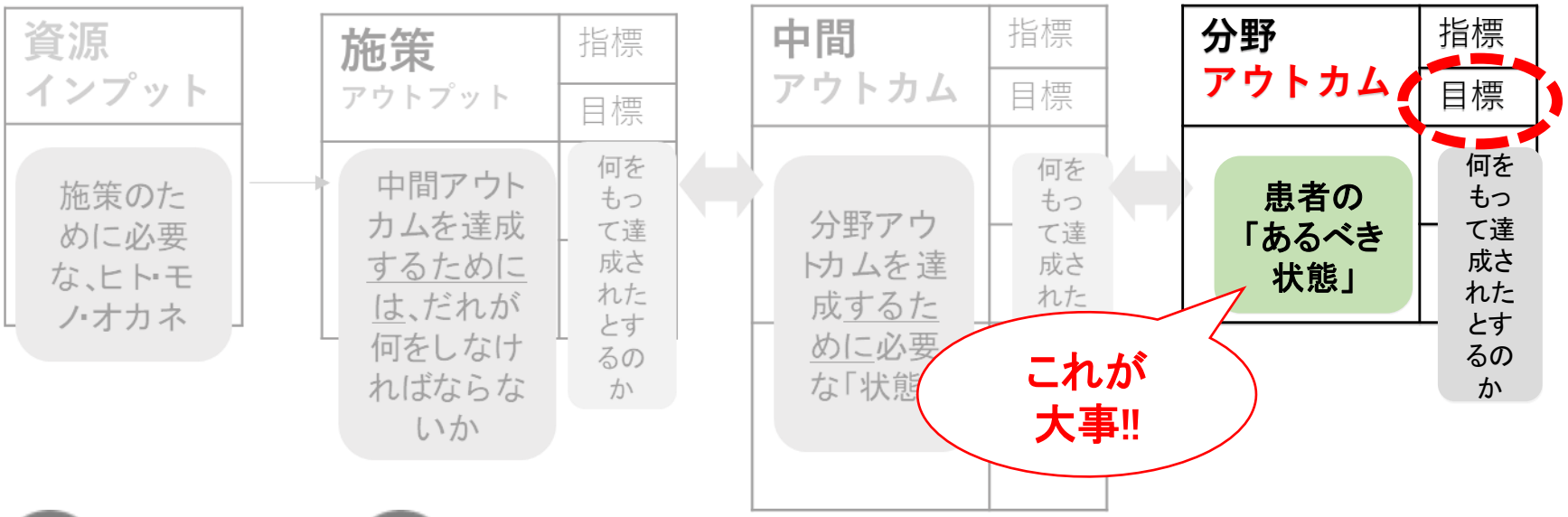
ステップ1. 現状を知る
① 基礎データの収集 + ②課題を抽出する



分野単位のロジックモデルにまとめます（スライドはイメージ）

ステップ 2. 目指す姿(状態)を設定し計画を策定する
③ アウトカムと目標を設定する -1

CPsum がん政策サミット



■分野アウトカムの設定

- 患者さんを中心に、六位一体で議論します
- ここでのポイントは、「状態」を示す表現になっていることです

↓

「患者が〇〇になっている」状態
と言える言葉で端的にまとめてみてください。

ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
③ アウトカムと目標を設定する -1

これが
大事!!

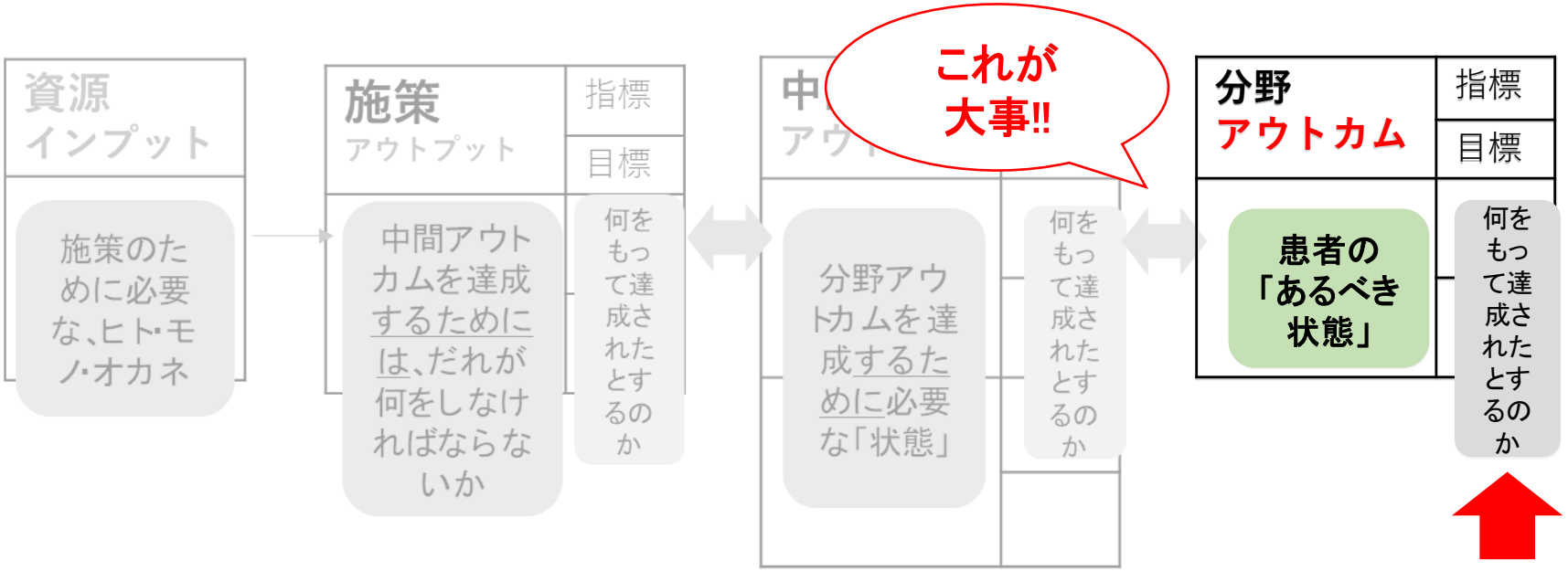
【参考】各分野の分野アウトカム例

がん政策サミット版: いいとこ取りロジックモデルから

分野 アウトカム	指標 目標
患者の「あるべき状態」	何をもって達成されたとするのか

がんの一次予防	がんの罹患者を減らす、死亡者を減らす
早期発見・検診	がんが早期に発見される、がんによる死亡者が減る
医療提供体制	がん患者がどこに住んでいても、切れ目なく安全、安心、 適切な医療を受けられている
4療法の充実	がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている
チーム医療の推進	全人的なｻﾎﾟｰﾄを行う「トータルケア」の提供が受けられている 副作用・合併症・後遺症により、患者とその家族の生活の質が低下していない
ゲノム医療	ゲノム情報に基づく適切な薬、治療法が開発される 患者が個々のゲノム情報に基づき、最適な医療を受けられている
緩和ケア	患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している
相談支援・情報提供	がん患者とその家族が、がんにより生じた療養生活の心配や悩みなどが軽減されている
希少・難治性がん	希少がんおよび難治性がん患者が適切な医療を受けられている 希少がんおよび難治性がん患者がQOLを保ちながら安心して生活が送れている 希少がんおよび難治性がん患者の生存率が向上している
在宅医療	在宅患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している 患者が望む場所で療養生活を送ることができている
ライフステージに応じたがん対策	どのﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞの患者さんも、適切な医療を受けられている どのﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞの患者さんも、尊厳を持って療養生活を送れている
がん登録	がん医療が進歩している がん登録データが利活用されている
社会的な問題	がんになっても自分らしく生き、働き、安心して暮らしている 患者が社会の一員として尊厳を持って暮らしていられる

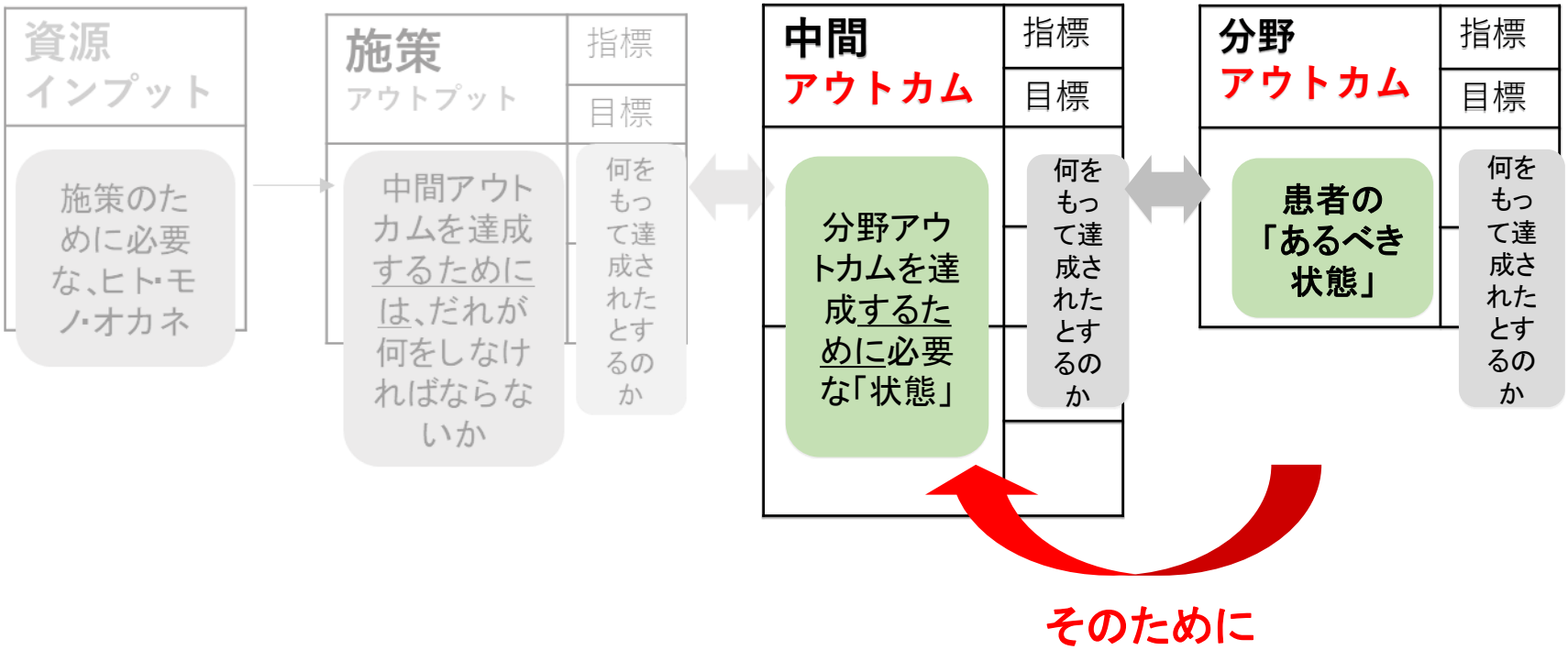
ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
③ アウトカムと目標を設定する -1



■分野アウトカムの指標の設定

- 「あるべき状態」が書かれたら、それを何をもって達成されたとするかの「指標」を考えます
- 患者のあるべき状態を知る指標の、有力な情報源が患者体験調査です。
- アウトカムを測る指標は、死亡率や罹患率などの客観指標と併せて、患者体験調査による主観指標が大きな役割を果たします。

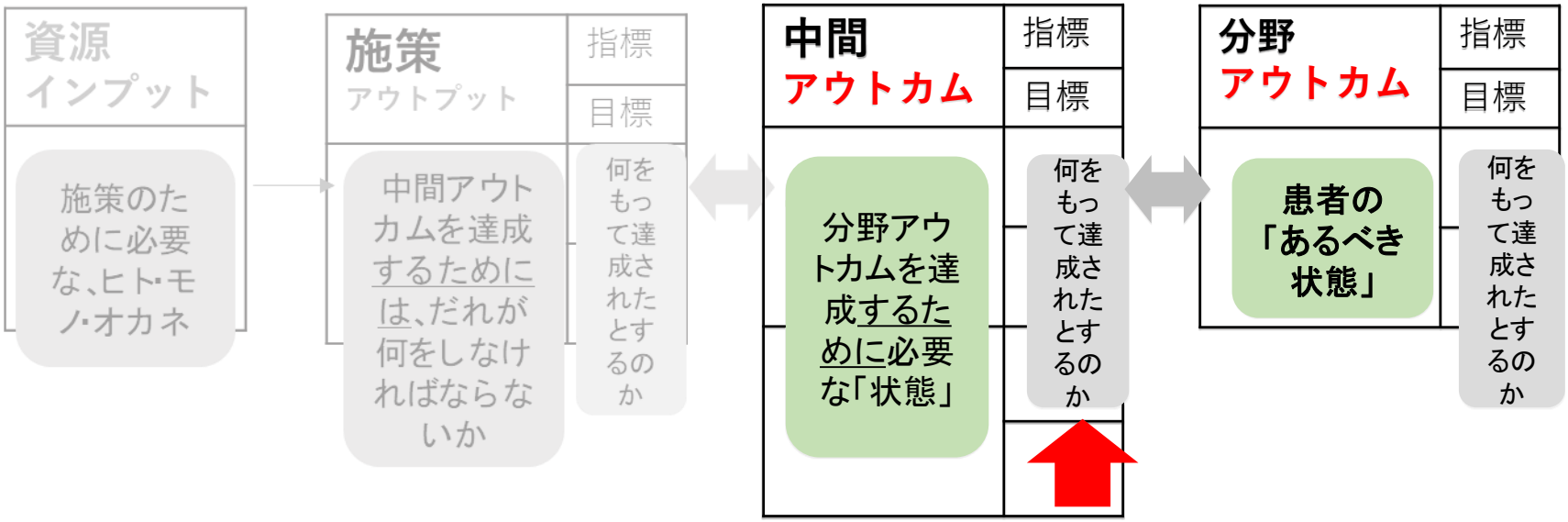
ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
③ アウトカムと目標を設定する -2



■中間アウトカムの設定

- 分野アウトカム「あるべき状態」のために必要な状態を検討します
- さまざまな事柄が検討されますが、迷った際には「患者の状態、医療現場の状態、地域の状態」の観点から絞ってみてください
- 「〇〇が〇〇の状態になる」と言える言葉で端的にまとめます
- 分野アウトカムと「そのために」でつながるか、確認します

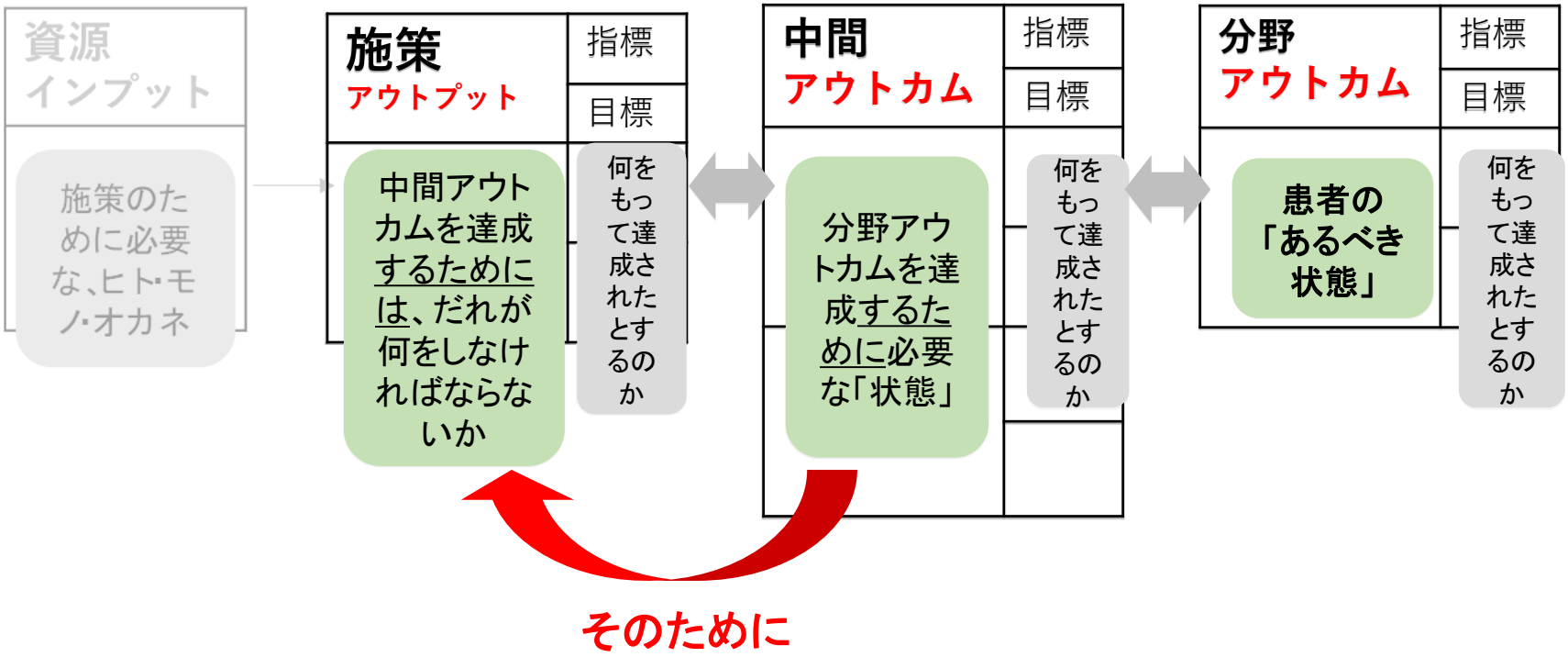
ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
③ アウトカムと目標を設定する -2



■中間アウトカムの指標の設定

- 中間アウトカムが書かれたら、それを何をもって達成されたとするかの「指標」を考えます
- 直接的に計測できる指標はなかなかないので、代理指標も検討します

ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
④ 施策を策定する



■中間アウトカムのために必要な施策の検討

- 現計画の中間評価で「A: 強化すべき、B　維持すべき、C　検討を続けるべき」と判定された施策もの妥当性を検討します
  （「D　中止を検討すべき、E　中止すべき」と判定された施策の中止を英断する勇気も必要です）
- 新規施策を検討します

ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
④ 施策を策定する

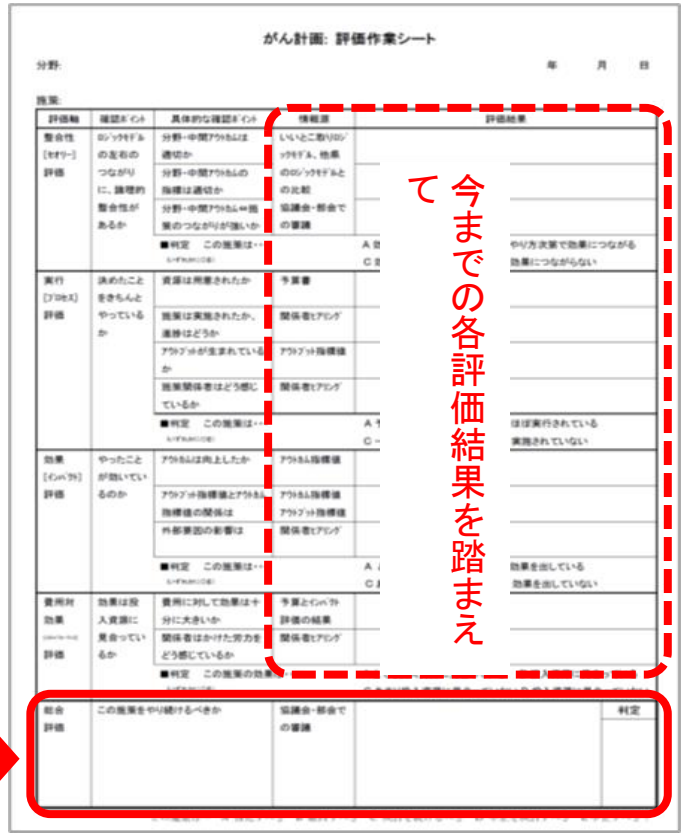
CPsum がん政策サミット

現計画の中間評価結果

この施策（事業）は、

A　強化すべき
B　維持すべき
C　検討を続けるべき
D　中止を検討すべき
E　中止すべき

判定する

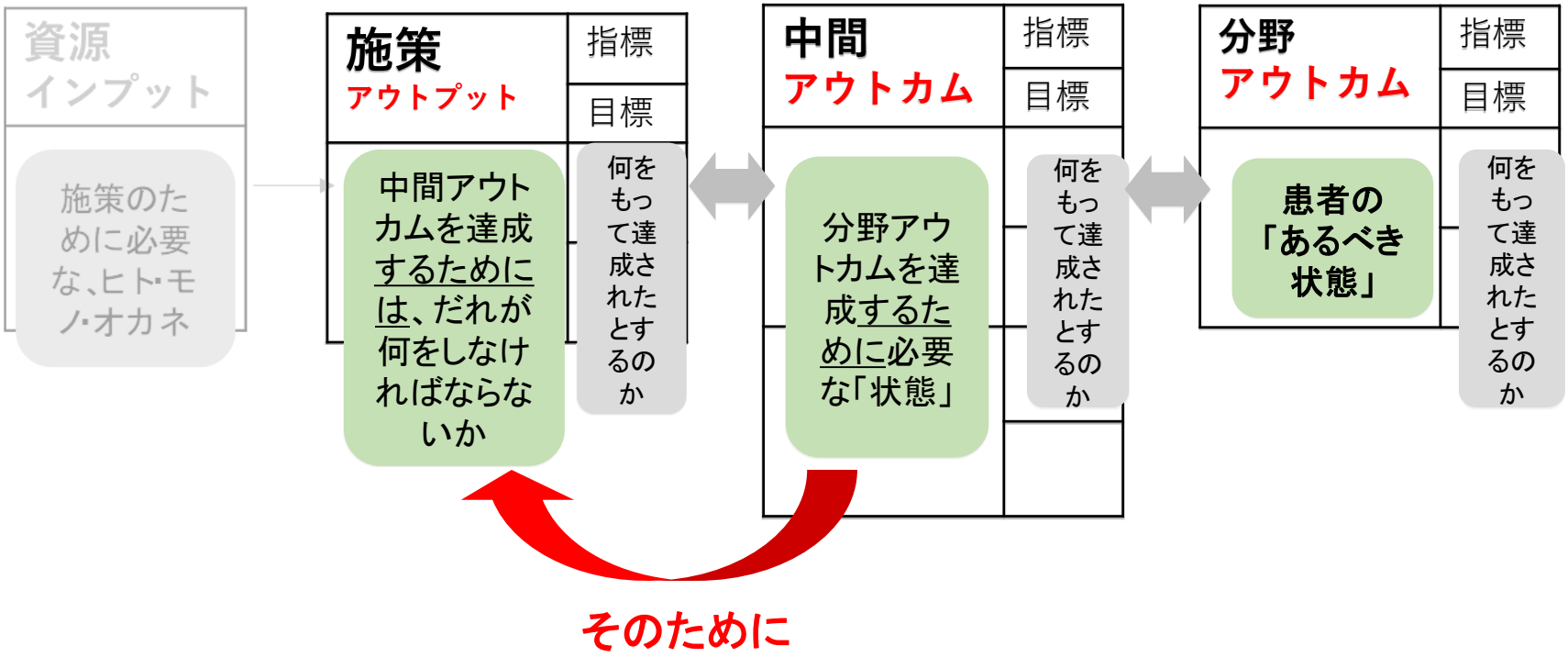


既存施策毎の継続についての判定

↓

次期計画に入れるかどうかの検討

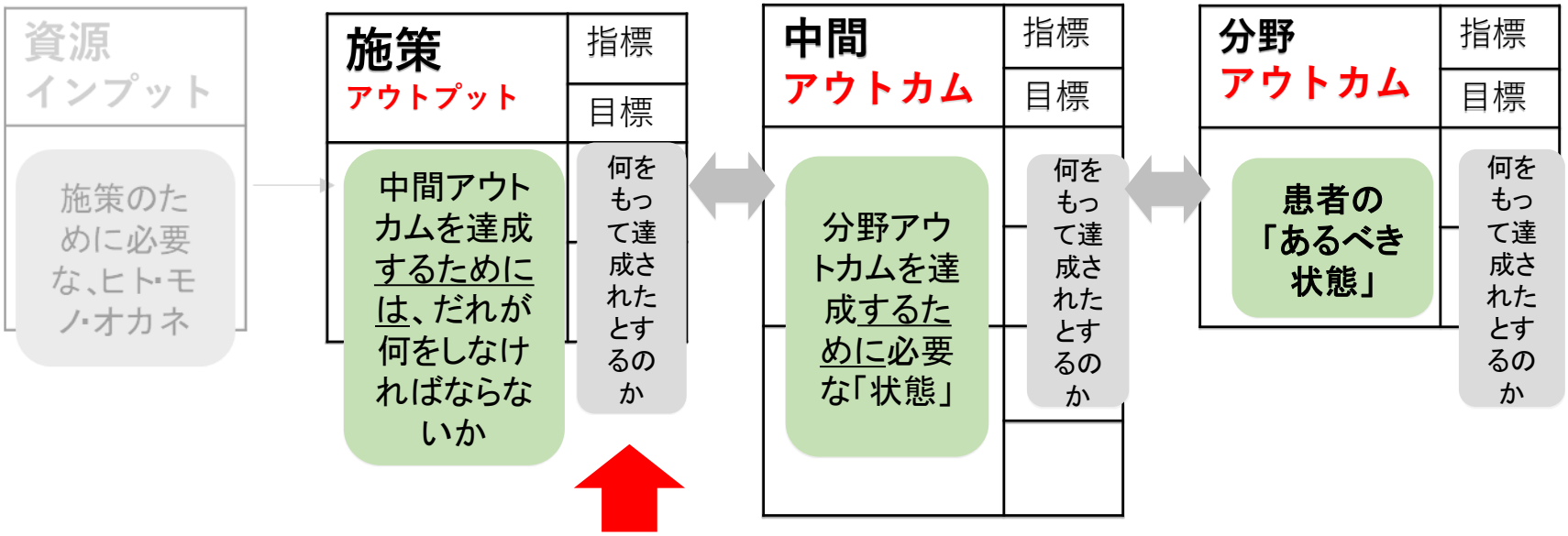
ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
④ 施策を策定する



■中間アウトカムのために必要な施策の検討

- 現計画の中間評価で「A: 強化すべき、B　維持すべき、C　検討を続けるべき」と判定された施策もの妥当性を検討します
  （「D　中止を検討すべき、E　中止すべき」と判定された施策の中止を英断する勇気も必要です）
- 新規施策を検討します

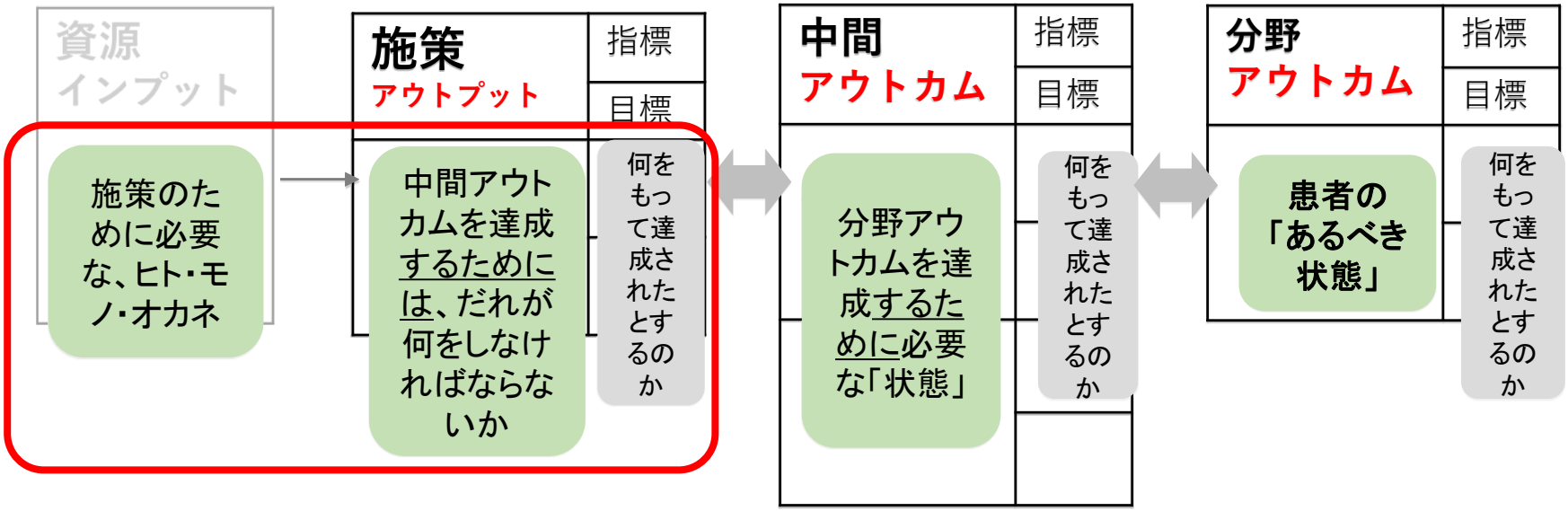
ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
④ 施策を策定する



■施策の指標、目標設定

- その施策の指標･目標を設定します

ステップ 2. 目標を設定し計画を策定する
④ 施策を策定する



事業として資源も含めて明確にします

Tips: 施策と事業

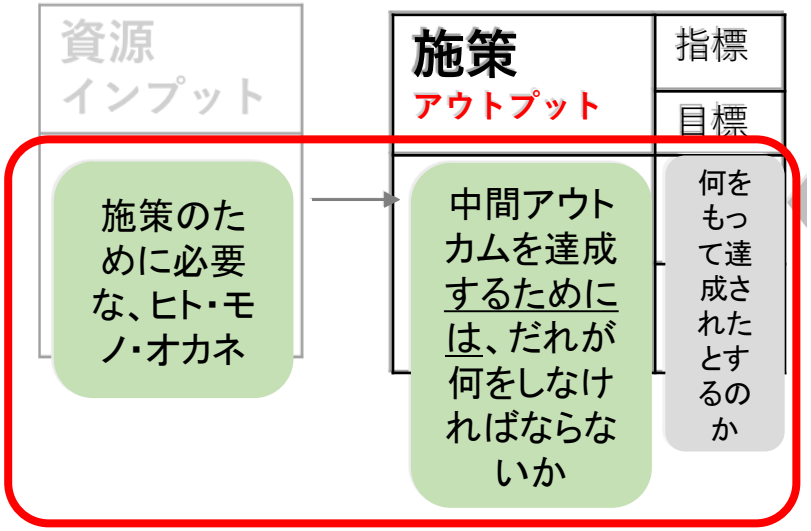
某県の第3次がん計画推進計画、予防分野の施策

県は、がん対策サポート企業等登録制度の登録の推進や市町村、職域、関係団体と連携し、飲食店などのほか、職場や家庭における受動喫煙の防止を促進します。

これでは、具体性がなく評価ができない

事業の例:

受動喫煙防止対策順を遵守している飲食店へのステッカー配布事業
（指標: 掲示店数、目標: 年度末までに3000店、予算: 200万円）



事業ごとに、計画・評価シートを作成すると明確になります

施策 事業（活動）計画・評価シート

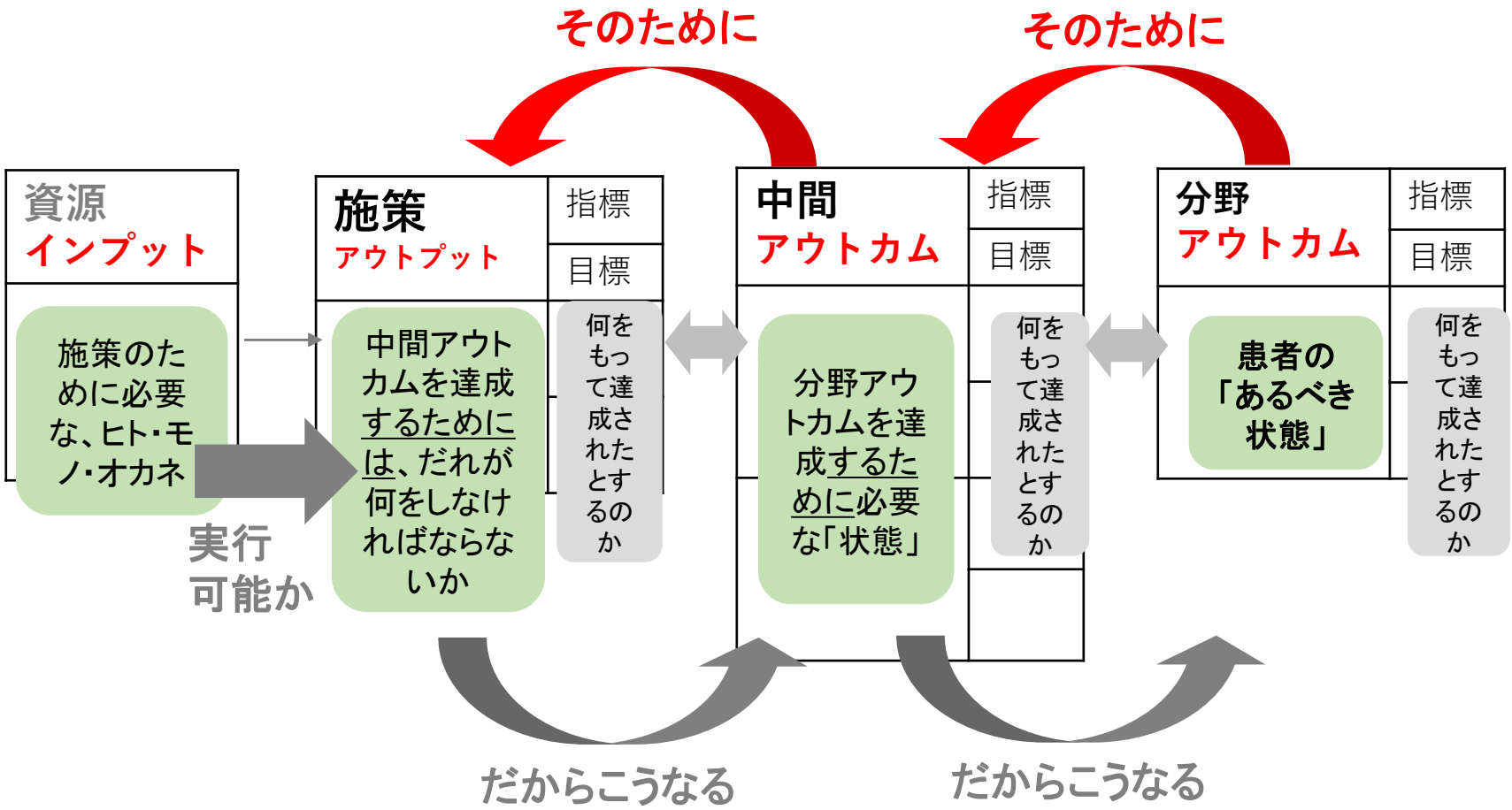
事業/活動名:

リーダー:

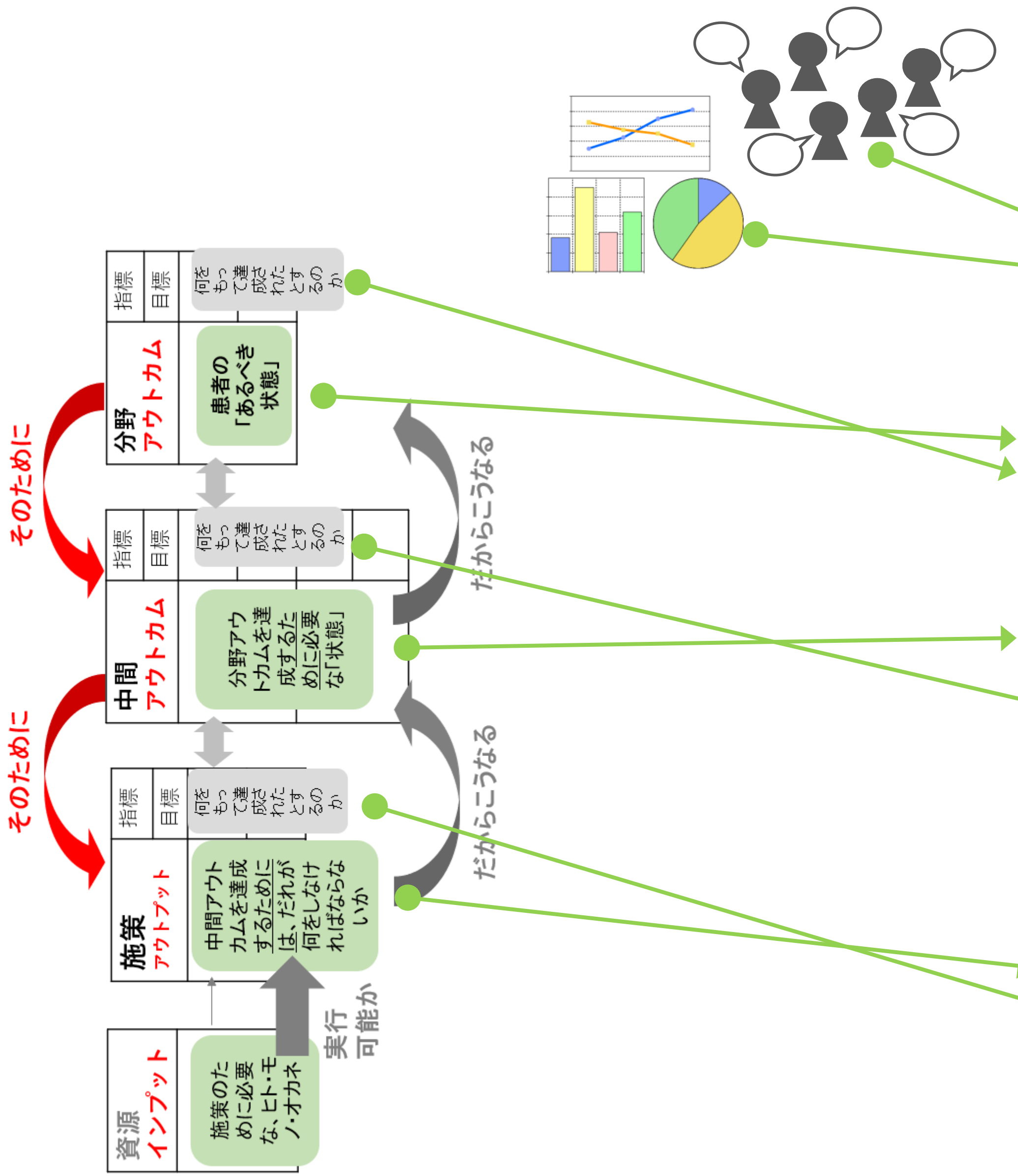
策定日:　　評価実施予定日:

		項目	説明	進捗評価/改善案
1	アウトカム（成果）	最終アウトカム		
			指標【目標】	
2		中間アウトカム		
			指標【目標】	
3		初期アウトカム		
			指標【目標】	
4	事業/活動の内容	アウトプット（結果）目標		
			期限:	
5		実施期間		
6		内容（200字程度）		
7		成功のカギ（150字程度）		
8		役割分担 誰が、何を、どのように、いつまでに		
9		人員		
10		連携先		
11		予算（資金源）		
12		特記事項		

最後に
ロジックモデルの整合性を確認します



ステップ 3. 計画文に書き下ろす



分野●●

【現在の状況と課題】
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

【分野目標】
この分野は～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～であることを目指します。
指標: ～～～～

【中間目標】
そのために、次の目標を設定します。
1. ～～～～～～～～～～～～であること。
指標: ～～～～
2. ～～～～～～～～～～～～であること。
指標: ～～～～
3. ～～～～～～～～～～～～であること。
指標: ～～～～

【施策】
1. ～～～～～～～～～～～～をします。
目標: ～～～～～～～～～～～
2. ～～～～～～～～～～～～をします。
目標: ～～～～～～～～～～～
3. ～～～～～～～～～～～～をします。
目標: ～～～～～～～～～～～

すべては、

助かるはずの「いのち」が救われるために

どこに住んでいても、最良の医療を受けられるために

「患者の生活の質、尊厳と安心ある社会」の実現のために

がん対策推進計画が、患者さんに届くために

参考資料

- がん政策サミット版: いいとこ取りロジックモデル
- 国・都道府県第3次がん対策推進計画ロジックモデル化の例
- 「改訂! 誰にでもできる! がん計画の作り方」

⇒ がん政策サミット ウエブサイトHome > **がん計画のPDCA**

- がん対策: 地域別データ集

⇒ がん政策サミット ウエブサイトHome > **がん対策地域別データ集**

謝 辞

今回ご紹介した流れは、「がん政策サミット」でご講演をいただいた各分野の専門家のみなさま、「がん政策サミット」にご参加いただいた、患者関係者、議員、行政関係者、医療提供者、メディア、企業等の民間のみなさまから学ばせていただいたことが沢山織り込まれています。

また、2009年から2020年まで「がん政策サミット」の活動は製薬関係を主とした企業各社、趣旨に共感くださった個人のみなさまに支えていただきました。

ここに、ご協力いただきましたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。